

お茶の水女子大学 正門門扉復元完成式典



建築当時の大学正門（昭和11年11月 落成記念写真帳より）



復元改修後の大学正門（平成29年8月31日撮影）

（大学正門の沿革）

1875年（明治8年）11月29日 東京都文京区湯島3丁目24番地に校舎等を建設

開校時は、東京女子師範学校（その後、東京女子高等師範学校を経て、お茶の水女子大学に改称）

1923年（大正12年）9月1日 関東大震災により校舎等が焼失

1936年（昭和11年）6月 焼失による復興として、現在の大塚キャンパス（東京都文京区大塚2丁目1番1号）に大学正門が竣工、正門が建てられている敷地は、埋蔵文化財包蔵地の指定があり、本学の設置以前は陸軍兵器庫（弾薬庫等）や安藤家武家屋敷跡地であった。

現在の大学正門は、国道254号線（春日通り）に面し、建設後は戦時中の鉄材料の供出により門扉は外されたが1955年（昭和30年）3月23日に丸パイプの鋼製門扉に取替えられた。

竣工時より門扉は一度取替えられ門柱照明器具は修理を行いながら、それ以外は手を付けずにお茶の水女子大学の保存建造物（歴史的建造物）として維持管理をしてきた。

その後の国交省による国道拡幅整備により、大学正門の片方の袖壁塀の一部約2.5mが短く改修されている。

今回、室伏学長及び執行部の指示のもと大学本館、大学講堂、附属幼稚園園舎の登録有形文化財建造物の保存改修に続いて、残る大学正門の復元として、建設当時の門扉意匠及び道路歩道側の車止め設置の復元を行った。

（国の登録有形文化財建造物の経緯について）

H18.10.7 大学本館改修記念式典を開催する

H18.11.9 大学本館等の文化財登録について、記念式典に出席された文化庁・亀井文化財鑑査官より連絡有り

H18.11.14 大学本館等の文化財登録について文化庁及びお茶の水女子大学で打合せ

H19.5.18 文化財申請に伴う所見作成依頼（東京工業大学大学院理工学研究科／近代建築史／工学博士：藤岡教授）

H19.9.12 文化庁文化財部、東京都教育委員会、文京区教育委員会の3者による現地の実査を実施（大学立会い）

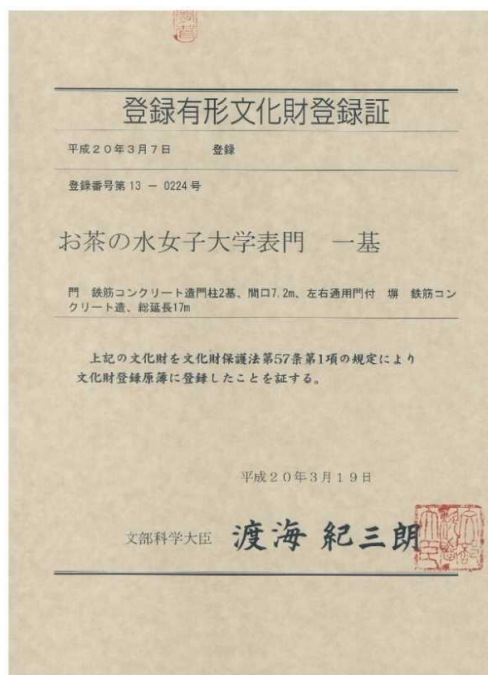
H19.12.7 文化庁より、登録有形文化財（建造物）登録について、プレス発表される。

H20.3.7 **国の登録有形文化財建造物4件が登録される（大学本館、大学講堂、大学正門、附属幼稚園園舎）**

H20.5.14 文京区教育委員会にて、登録有形文化財の銘板（大学本館・講堂・大学正門で1枚、附属幼稚園園舎1枚）を受領。

H29.8.1 大学正門復元改修に伴い、大学正門単独の銘板を製作した（文京区教育委員会了承済み）

H29.8.31 大学正門復元改修に伴い、左側袖壁に大学正門単独の銘板を設置した（下段右側写真を参照）



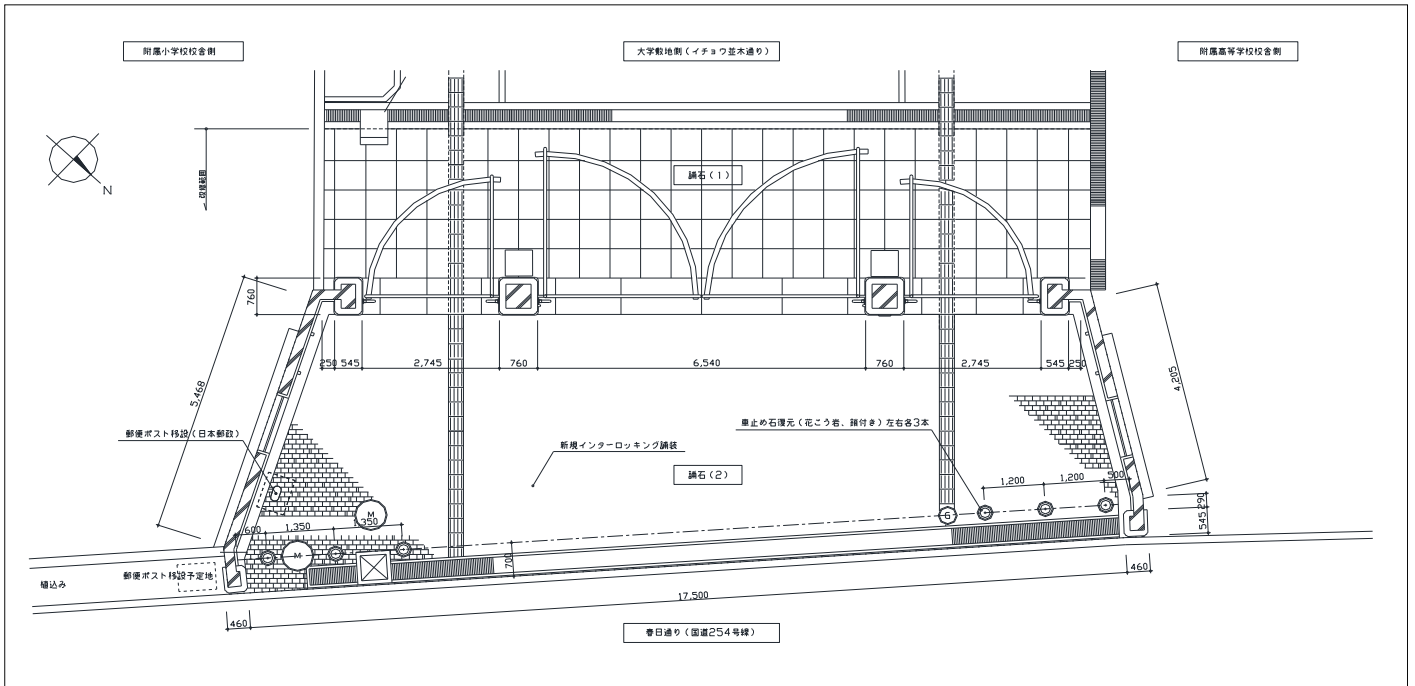
登録有形文化財の銘板が当初、3件（大学本館、大学講堂、大学正門）をまとめた銘板となっていたため、近隣住民の方や学内者で文化財であることが周知されていなかった為改修を行う際に大学正門の単独の銘板を製作・設置した。

(大学正門の概要について)

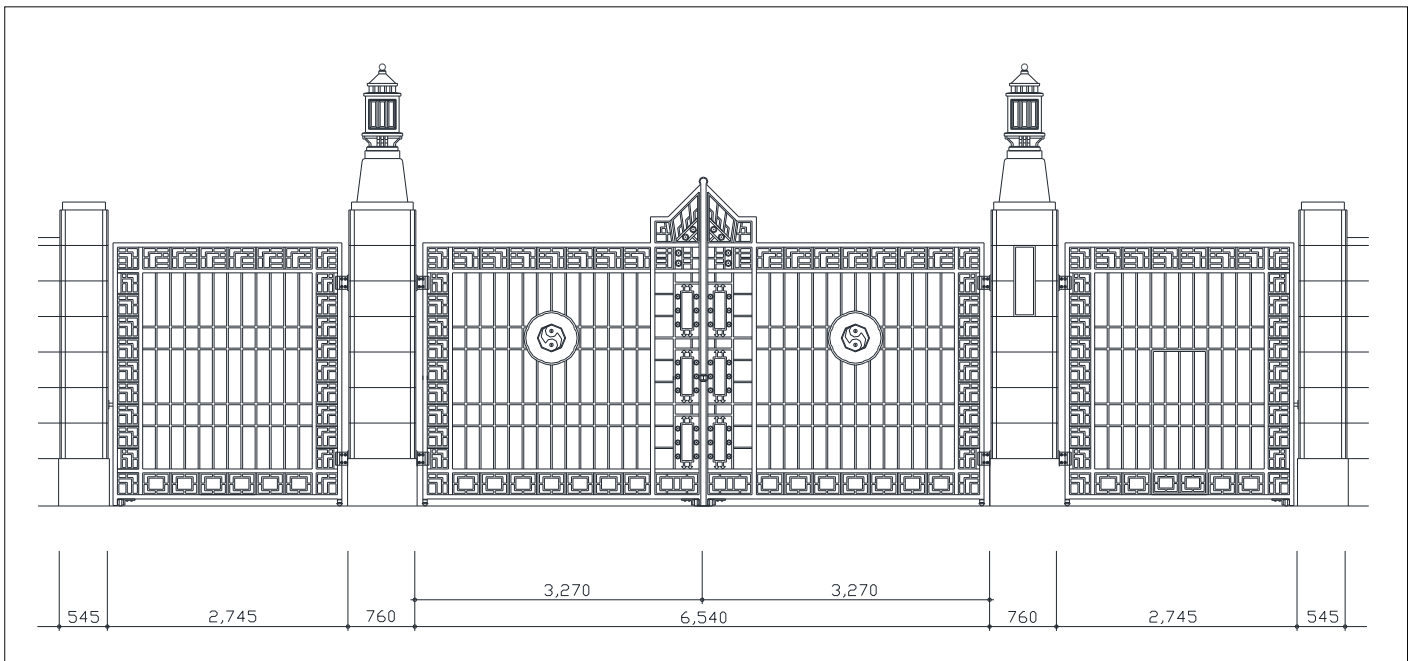
(建築主)	建設当時：東京女子高等師範学校	(校長)	吉岡 郷甫
	現 在：国立大学法人 お茶の水女子大学	(学長)	室伏 きみ子
(正門所在地)	建設当時：東京市小石川区大塚町36	現在：	東京都文京区大塚2丁目1番1号
(建築年)	1936年(昭和11年)6月竣工		
(復元改修年)	2017年(平成29年)4月～8月31日		
(設計者)	建設当時：文部省大臣官房建築課	(設計掛長)	高橋 理一郎(東大建築1912年卒)
	高橋理一郎氏経歴：後に文部省大臣官房建築課長を歴任する。		
	建設当時：文部省大臣官房建築課	(設計者)	田中 徳治(東大建築1923年卒)
	田中徳治氏経歴：後に文部省大臣官房建築課長、文部省教育施設部長(初代)を歴任する。		
(基本・実施設計)	やしま製作所	(代 表)	根本 真仁
(実施設計修正・積算)	お茶の水女子大学・施設課	(副課長)	神田 浩美 1級建築士
(工事現場監理)	お茶の水女子大学・施設課	(建築係長)	坪田 聡子 1級建築士
(全体監修)	お茶の水女子大学 人間・環境科学科	(准教授)	元岡 展久 1級建築士
(改修履歴)	昭和30年3月23日竣工	鋼製門扉取替え(丸パイプ)	177,000 円
	平成12年11月30日竣工	門灯照明器具修理	1,134,000 円
	平成13年8月31日竣工	大学正門門扉塗装改修	819,000 円
	平成29年8月31日竣工	鋼製門扉(角パイプ)及び車止め復元その他	25,488,000 円
(復元改修施工会社)	株式会社 小野組		

(大学正門復元改修の内容について)

- (鋼製門扉) 現存している設計図面及び写真をもとに、建設当時のデザインで意匠を復元した。
- (門扉の色) 塗装業者により既存塗装膜を一層ずつ剥がし、竣工当時の塗装色を確認し、色についても復元した。
- (徽章) 東京女子高等師範学校の徽章は正面から撮影した写真が無く、当時の設計図面を基に復元した。
- (既存門柱・袖壁) 竣工後81年を経過した石面等の表面保護のため、光触媒コーティング処理を全面に施した。
- (点字表示) 改修前の仮設点字シートではなく、耐久性のある点字ブロックへ改修を行った。
- (床舗装) 車道側の床舗装材は、車道用のコンクリート舗装の上にインターロッキングブロック舗装の耐荷重性を考慮した舗装材に改修を行っている。
- (郵便Box) 郵便Boxが景観上、好ましくない位置にあったため、大学正門の袖壁左側の歩道に接する場所の近隣住民の方も使いやすい国道歩道に接する位置に移設した。
- (車止め) 既存車止め石は、学内に2個現存していたため、その車止め石を基に新規に6個製作を行った。建設当時は、正門前に路面電車が走行しており、教職員・生徒・学生等の急な飛び出しなどで危険であったため、車止めを設置する計画としていたと思われる(現在は国道254号線)
- (安全対策) 歩道の自転車と大学側からの歩行者の衝突を避けるために、車止めを復元設置した。自動車は門扉中央を通し、歩道の点字ブロック側への通行は行わないよう安全対策を行った。上記のことを行うことにより、大学正門から横断歩道に直接進入していた危険であった車両の誘導を行うことが出来るようになった。



復元改修後の大学正門平面図



復元改修後の大学正門門扉立面図



復元改修前の大学正門（平成29年4月1日撮影）



復元された東京女子高等師範学校の徽章

（お問い合わせ）
 国立大学法人 お茶の水女子大学 施設課
 〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号
 Tel : 03-5978-5132 Fax : 03-5978-5892

2017年8月31日作成